



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	23,932.76	-572.46	-2.34	-0.71	-3.18	24,719.22
NASDAQ	6,915.11	-161.44	-2.28	-2.10	0.17	6,903.39
日経225	21,567.52	-77.90	-0.36	0.53	-5.26	22,764.94
上海総合	3,131.11	-5.52	-0.18	-1.19	-5.32	3,307.17
滬深300 (CSI300)	3,854.86	-7.62	-0.20	-1.12	-4.37	4,030.86
ハンセン	29,844.94	326.25	1.11	-0.83	-0.25	29,919.15
中国企業	11,967.66	110.25	0.93	-0.26	2.21	11,709.30

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は0.8%安と3週続落、上海総合指数は1.2%安

香港市場は2日と5日が休場のため3営業日の取引。ハンセン指数は3日間で0.8%安と3週続落した。連休明けは30000ポイントを挟んだ展開だったが、中国が米制裁関税に対する報復措置を表明した4日後場にハンセン指数は急落し、約7週間ぶりの安値を付けた。週末6日は反発したものの、節目の30000ポイントに近づく水準では戻り待ちの売りに押される展開となった。本土市場は5-6日が清明節の連休で休場のため3営業日の取引。上海総合指数は米中貿易戦争への警戒感から3日間で1.2%安と反落した。

### 今週の展望:香港市場は神経質な展開か、米中貿易戦争への警戒感がくすぶる公算

香港市場は神経質な展開が見込まれる。トランプ米大統領が1000億米ドルの対中追加関税の検討を指示したことに対し、中国側も「いかなる代償を払おうと断固反撃する」と強硬姿勢を示すなど米中貿易摩擦がエスカレート。貿易戦争回避への動きが出てくれば買い戻しも期待できるが、今週はトランプ米大統領の言動に一喜一憂する展開となりそうだ。本土市場も米中貿易戦争への警戒感から神経質な展開か。週末には中国の貿易統計の発表も予定されており、週末にかけて手控えムードが広がる可能性もある。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 恒安国際集団(01044)	76.85	5.71
2 シノック(00386)	7.20	4.50
3 九龍倉置業地産(01997)	52.95	3.62
4 AIAグループ(01299)	67.55	1.73
5 新世界発展(00017)	11.26	1.62
6 太古A(00019)	80.30	1.45
7 信和置業(00083)	12.88	1.42
8 ハンセン銀行(00011)	184.00	1.32
9 ファイナ・コム(00762)	10.02	1.21
10 新鴻基地産(00016)	124.90	0.73

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 電能実業(00006)	60.75	-13.15
2 中銀香港(02388)	36.70	-3.93
3 万洲国際(00288)	8.04	-3.83
4 CNOOC(00883)	11.18	-3.29
5 瑞声科技(02018)	137.40	-2.97
6 碧桂園(02007)	15.74	-2.60
7 長江和記実業(00001)	91.50	-2.56
8 中国蒙牛乳業(02319)	26.25	-2.42
9 中国旺旺(00151)	6.17	-1.91
10 サズ・ファイ(01928)	41.40	-1.90

## ▼今週の主なイベント

- 4月8日(日)
- 【中国】博鳌アジアフォーラム(~11日)
- 4月11日(水)
- 【中国】CPI、PPI(3月)
- 4月13日(金)
- 【中国】貿易統計(3月)

### ▼今週の期待材料

- ◆清明節の連休明けで本土市場の取引が再開、ストックコネクト制度を通じた本土から香港への取引も再開
- ◆中国企業の17年本決算が好調、26日までに発表した比較可能な1352柄の純利益は前年比22%増
- ◆10日に習近平国家主席が博鳌アジアフォーラムで講演、ポジティブな材料が出てくる可能性も

### ▼今週の懸念材料

- ◆米中貿易戦争に対する警戒感がくすぶる公算、トランプ米大統領が1000億米ドルの対中追加制裁を検討
- ◆先週の公開市場操作で差し引き200億円の資金を市場から吸収、資金吸収は3週連続で引き締め継続
- ◆13日に中国の貿易統計発表、対米貿易黒字が増えていた場合には貿易戦争がエスカレートする可能性も

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 吉利汽車(00175): 3月の自動車販売台数が39%増加、1-3月も39%増と好調
- ☆ 瑞安房地產(00272): 3月の不動産販売額が10倍に拡大、1-3月は66%増
- ☆ 安徽コンチセメント(00914): 国内各地でセメント価格が上昇、業績拡大の追い風に
- ☆ 龍源電力(00916): 3月の発電量が19%増加、1-3月は21%増と好調
- ☆ 長江実業集団(01113): 香港の住宅市況が好調、中古住宅指標が過去最高値を更新
- ☆ BYD(01211): 3月の自動車販売台数が前月比64%増加、新エネ車は67%増
- ◇ 慧聰集団(02280): 綿花取引B2Bサイト運営会社に追加出資、連結子会社化
- ★ スカイワース(00751): 3月のテレビ販売台数が9%減少、海外が21%減と苦戦
- ★ 中遠海運控股(01919): 米中貿易摩擦が激化、報復合戦になれば業績下押し要因に
- ★ 万科企業(02202): 3月の不動産販売額が20%減少、販売面積は9%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。